

導入事例

チッソ株式会社／JNC株式会社

グループ会社40社・従業員3800名のセルフサービス化を強力に推進

～ 機能化したポータルで、利用者のやりたい事が、やりたい時に、効率的にできる環境を実現 ～

企業情報

チッソ株式会社／JNC株式会社

- 主な事業:
液晶材料などの化学製品の製造販売
- 本社所在地:
東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル
- 売上高:
約2400億円
(2010年度連結ベース)
- グループ企業: 約40社
- 従業員数:
約3800名(連結、派遣含む)

- <http://www.chisso.co.jp/>
- <http://www.jnc-corp.co.jp/>



化学メーカーとして、液晶材料など多岐にわたる製品を製造・販売してきたチッソ株式会社。その100%子会社であるJNC株式会社は、チッソから事業を引き継ぎ、2011年4月に営業を開始した。約40社のグループ会社を持ち、国内に6ヶ所、海外にも拠点を展開している。

チッソ/JNCグループでは、従業員約3800名が、本業の合間に、人事系の業務などを効率よく取り組めるよう、新たな企業ポータルを構築した。

そこで選ばれたのが、ZeeMトータル人事ソリューションである。人事系パッケージベンダーとして豊富な実績を持ち、業務に詳しいクレオが、国内外2300社に導入されているシステム共通基盤『intra-mart』(イントラマート)をベースに、お客様の目線に立って実現した。

選定理由

- 高機能な企業ポータルを低コスト・短期間で構築可能
- intra-martベースのアプリケーションによる拡張性
- クレオの実績と、ZeeM人事給与との連携性

導入効果

- 機能化したポータルにより利便性を向上、セルフサービス化を推進
- プッシュ型配信で、利用者が情報を探す手間を省く
- マルチタスクで複数業務を同時進行
- 本業の合間に、手間なく業務を完結

新しいポータルを導入後は、特に催促しなくても、

ほとんどの人が締切日までに申請してくれるようになりました。



チッソ人事部 次席
東 義信氏



JNCシステム部 主務
西田 和正氏

■ 導入の背景 - システム更新で、一層の利便性向上を図る

「社員には本来業務が別にあります。そのために“人事業務は、空いている時間に片付ける”という、使い勝手のよいサービスの提供が不可欠です」とチッソ人事部の東氏は語ってくれた。

チッソ/JNCグループのポータルは、人事系情報などの参照・申請・承認を一種のリンク集として実現していた。

現場にとって利便性のよい仕組みは、業務の効率化はもとより、人事部やシステム部への問い合わせの低減にも通じる。そのために、ポータルのシステム刷新を機会に、業務に使える機能を備えたポータルを目指すことになった。

そこで、使い勝手のよい人事給与システムを提供してきたクレオと共に、intra-martをベースにした、新たなポータルの構築を開始した。

■ お客様の意志に粘り強く応え画期的な機能ポータルが誕生

“現場にとって使いやすい仕組みを提供する”という、人事部/情報システム部の強い意志があり、それに応えるために「クレオは、粘り強く取り組んでくれました」と東氏は語る。

たとえば、ポータルの機能配置など、数十回におよぶ打ち合わせにより具体化していった。そのひとつである「アクティブメニュー」機能では、利用者が申請・承認すべき案件の数と案件内容を個別に表示する。その際、情報を表示する優先度といった細部においても機能を練り上げた。

こうして、お客様の”利便性を追求する姿勢”と、クレオの”お客様の要望に粘り強く応える姿勢”が組み合わせられて、現場にとって利便性の高い機能ポータルが誕生した。

新人事ポータル構築：課題と対策

課題①効率的に参照・申請・承認を行う

対策：各種機能までの階層を浅くする
事象入力（イベントに基づいた申請を行い重複入力を防ぐ）

課題②効率的に情報を送る・受取る

対策：重要なお知らせ（知らせたい人にタイムリーに通知）
業務カレンダー（**デッドライン通知**：対象者に締切日を通知）

課題③やりたい時にやれる環境を推進

対策：複数画面同時並行処理（**マルチタスク**）
ロールと承認経路の自動生成（**ワークフロー権限者の自動更新**）

最重要課題：機能ポータル構築が必須要件！
intra-martベースのトータル人事ソリューションで実現

導入事例

チツソ株式会社／JNC株式会社

■ 導入効果 - プッシュ型情報配信で未申請者が激減

新ポータルは、その導入効果が徐々に始めているところだという。実際に、必要な時に必要な情報をプッシュ型で配信する仕組みで、2000名近い社員の目標管理業務が効率化された。「従来は、何度も催促しないとやってもらえませんでした。新しいポータル導入後は、特に告知しなくても、ほとんどの人が締切日までに申請してくれるようになりました。これはポータルに申請件数や締切日を掲載する機能のおかげだと考えています。」とシステム部の西田氏は語ってくれた。

また、国内だけでなく海外赴任の社員にも、ポータル経由で同じように情報を配信しており、効率面でも意思疎通の面でもよい効果が出ているという。

■ ZeeM 人事給与との連携で、承認経路の設定を省力化

このポータルでは、システム管理の利便性も追求している。ZeeM人事給与とintra-martのシステム連携により、ワークフロー設定の自動更新を実現。これで、8割程度の承認経路が自動的に更新されるという。組織の枠に収まらない個別の承認経路は、セルフマネジメント方式で修正する。

このおかげで、これまで手作業で3人日程度かかっていた承認経路の設定工数を、大幅に省力化した。

今後は、構築システムの利用定着を図ると共に、電子会議室やコミュニティ機能など、intra-martの標準機能も利用していく。さらに今後のシステム導入では、intra-martベースのアプリケーションを優先して検討していく。

◆ 新ポータルの特長

①申請や承認は、ポータルのトップ画面で一目で把握。マルチタスクで複数業務を同時進行

全従業員が必要とする人事関連業務などをトップページに集約。メニュー階層を浅くしてナビゲーションもシンプルに。情報閲覧の手間と時間を短縮します。

さらに、複数の業務を同時進行できるマルチタスク機能を備えることで、申請入力中に、関連情報を閲覧できるなど、使い勝手が向上。

②必要な時に必要な情報をシステムが届けるプッシュ型配信で、利用者が情報を探す手間を省く

ポータルの「業務カレンダー」や「アクティブメニュー」機能では、見せたい人を選択して、必要な情報を掲載するプッシュ型情報提供を実現。

利用者も、自分に関係する情報の見落としが激減。

③トップページから残業申請できる『就業クイック入力』。効率的な参照・申請・承認を実現

労基法改正に伴って必要となった労働時間管理や36協定対応といった機能を盛り込み、約6ヶ月で開発。

就業管理ミニアプリ(ポートレット)をトップページに配置して、就業管理システムを毎回呼び出す手間を省くなど、利用者の利便性を追求。

The screenshot displays the ZeeM portal interface with several key features highlighted by callouts:

- 業務カレンダー (締切り通知)**: A calendar view showing dates and associated tasks or deadlines.
- アクティブメニュー (最新情報 (未申請・未承認))**: A menu of active items, likely notifications or pending actions.
- 就業クイック入力 (残業申請)**: A dedicated section for quick overtime application, including a table for inputting hours.

The interface also shows various data tables and navigation options, such as '業務カレンダー' (Business Calendar) with columns for dates and status, and '就業クイック入力' (Overtime Quick Input) with a table for recording overtime hours.

ZeeM for your smile ~お客様の笑顔のために~

企業を取り巻く環境変化のスピードは近年著しく早まっています。特に法改正といった大きなインパクトに対応しつつ、より付加価値を生み出すことを求められる人事部門や経理部門にとって、ルーティン業務の効率化は必須と言えます。ZeeMは現場の業務効率とデータ活用による付加価値を追求していただける業務パッケージとして、人事部門・経理部門の業務を支援して参ります。



ZeeMは1993年から約2000社の導入実績を誇る人事給与システムと会計システムを核としたトータル業務ソリューションです。業務アウトソーシングからクラウドを活用したシステムアウトソーシングまで、幅広く人事部門様・経理部門様をサポートいたします。

ZeeMのソリューションマップ



ZeeMは顧客ロイヤルティ調査で最高評価を獲得しています

矢野経済研究所【調査概要】

矢野経済研究所では基幹システムの利用動向調査を実施、評価指標としてNPS※を用い、顧客ロイヤルティの測定を行いました。

調査件数：194件（ERPパッケージ利用、人事・給与部門の回答数）

調査対象：日本国内の民間企業及び自治体

調査方法：記名式郵送アンケート調査

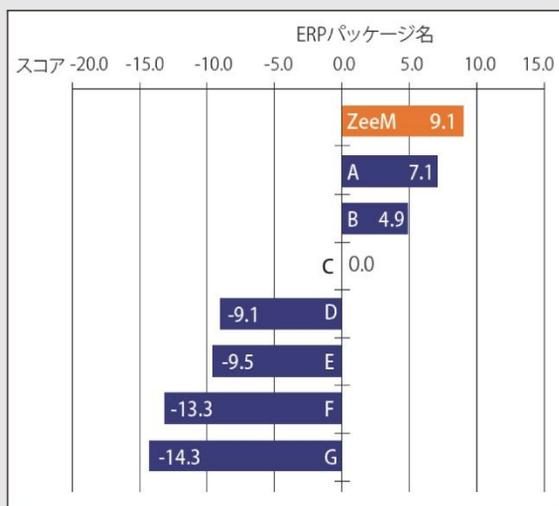
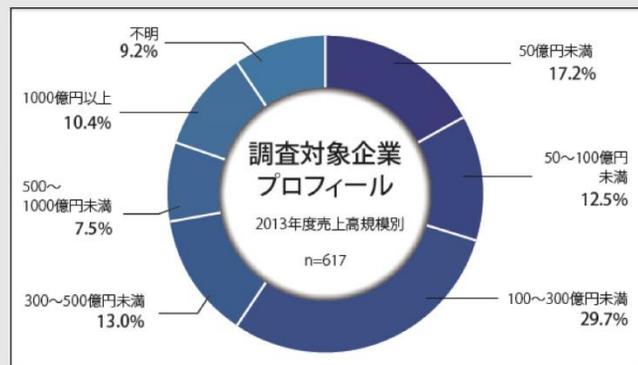
調査期間：2014年7月～2014年10月

調査条件：

・「人事・給与」「財務・会計」など業務分野ごとに利用しているパッケージのNPSを調査。

・矢野経済研究所が、ERPパッケージ（基幹業務を統合する情報システムを構築するためのパッケージ）と区分している製品を対象とし、一定数（10件）以上の回答数を得た製品間で比較。

※ NPS、Net Promoter、およびNet Promoter ScoreはSatmetrix Systems, Inc., Bain & Company, Fred Reichheldの登録商標です



お問い合わせ  株式会社クレオ

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-27住友不動産品川ビル12F
URL <https://www.zeem.jp/> TEL 03-5783-3540 FAX 03-5783-3541